

南山大学人類学博物館

年 報

2014 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

このところ、博物館、学校などとの連携した活動が活発になっている。

人類学博物館では、2006年より名城大学附属高等学校との間で連携授業を始めたが、それもすでに9年目に差し掛かろうとしているし、リニューアル後には南山学園の男子部・女子部との連携の模索も始まっている。

さらに、博物館どうしの事業連携も増えてきた。明治大学博物館との連携は来年度で第3期を迎えるし、隣接する名古屋大学博物館との間でも、新たな活動を検討しつつある。2014年度は名古屋市博物館と共同主催で「感じる縄文時代」展を開催し、当館は主に学習プログラムを策定してワークショップを行った。

このような協力関係に基づいて活動を展開することは、館の活動の幅を広げるうえで非常に有益なことである。特に当館のような小規模博物館の場合、自前の活動だけではどうしても限界がある。それを突破するのに、持ち味の違う館同士が協力し合ったり、学校において学習プログラムを実施する機会を得たりすることは望ましいことである。

ただ、長くやっているとどうしてもマンネリ化傾向は出てきてしまう。今後、博物館側にとっても、利用者側にとっても新鮮に感じられる活動を考えていかなければならないだろう。そして、そのときに、いかなる活動であれ、基盤に据えるべきは博物館のもつ資料であることは揺るぎない。

例えば2015年5月に、東京都美術館で開催している『大英博物館展—100のモノが語る世界の歴史』では、大英博物館の誇る100の逸品によって世界の歴史の流れを示そうという壮大な試みであり、まさに博物館資料によって提示される歴史といえる。もちろん、われわれの博物館の所蔵資料で大英博物館に比肩できるわけではないが、こうした方向性はこれからはばらく支持されるであろう。

博物館を魅力あるものにしていく作業は、博物館資料の魅力を惹きだしていくこととほとんど同義なのである。

2015年6月
南山大学人類学博物館

目次

1. 2014年度の人類学博物館の活動	1
(1) 教育普及活動	1
① 展示	1
② 講演会	2
③ 講座	3
④ 連携授業	4
⑤ 博物館実習	4
⑥ 総合学習	4
⑦ ギャラリートーク	5
(2) 調査・研究活動	6
調査出張	6
(3) 資料の収集・整備と利用	7
① 受贈資料	7
② 燻蒸の実施	7
③ 購入図書	7
④ 受贈図書数	7
⑤ 資料貸出	8
⑥ 取材・調査のための来館者一覧	8
⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載	9
⑧ 当館紹介刊行物一覧	10
(4) 出版活動	11
2. 組織と運営	11
(1) 組織	11
(2) 開館・入館者実績	11
① 開館日数・入館者数	11
② 入館団体内訳	11
3. 規程	14
(1) 南山大学人類学博物館規程	14
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	15
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	16
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	17

1. 2014 年度の人類学博物館の活動

(1) 教育普及活動

教育普及活動として、博物館主催及び博物館実習受講生による企画展示をはじめ、専門家を招聘しての講演会や講座、フィールドワーク等を行った。また、高校との連携授業を行ったほか、中学生の総合学習・職場体験学習も受け入れ、博物館学芸員の職業体験を通して中高生に博物館の実際を知ってもらった。

① 展示

○博物館主催展

※印の展示……博物館学芸員が企画し、「博物館実習」受講生が授業の一環としてパネル・キャプションの作成および展示作業を行った。

・紀要展※

会期：2014年4月24日～5月15日

会場：南山大学人類学博物館

総来場者数：701名

・「The Collection of Biology Laboratory」※

会期：2014年5月29日～6月26日

会場：南山大学人類学博物館

総来場者数：1,183名

・新収蔵品展「南コレ、何だコレ？2014」※

会期：2014年7月3日～13日

会場：南山大学人類学博物館

総来場者数：342名

・「中国鏡の世界—松本勝弘氏コレクション—」

会期：2015年2月23日（月）～3月14日（土）

会場：南山大学人類学博物館

総来場者数：214名

■特別講演会「中国鏡の変遷」

開催日：2014年2月28日

会場：南山大学R棟R48教室

講師：新井悟氏（川崎市市民ミュージアム考古部門学芸員）

○「博物館実習」受講生主催

・「Face Look」

会期：2014年11月27日～12月11日

会場：南山大学人類学博物館

総来場者数：592名

・「迫る近代化と地方自治」

会期：2014年12月14日～2015年1月14日

会場：南山大学人類学博物館

総来場者数：205名

○2014年度南山大学人類学博物館・明治大学博物館交換企画展

南山大学博物館会場：「東日本の再葬墓」

明治大学博物館会場：「これが私のお気に入り～タイ北部少数民族の女性の衣服～」

会期：南山大学会場 2014年9月11日（木）～11月8日（土）

明治大学会場 2014年9月10日（水）～11月9日（日）

会場：南山大学人類学博物館・明治大学博物館

総来場者数：10,491名

公開講演会：①南山大学人類学博物館会場…10月3日（金）・4日（土）13：00～14：00、
人類学博物館実習室

担当：忽那敬三（明治大学博物館学芸員）

「東日本の再葬墓」

聴講者：3日22名・4日15名

②明治大学博物館会場…10月18日（土）11：00～12：00

明治大学博物館教室

担当：西川由佳里（南山大学人類学博物館学芸員）

「これが私のお気に入り・タイ北部少数民族の女性の衣服

出品資料とその背景について」

聴講者：22名

○名古屋市博物館・南山大学人類学博物館主催特別展「感じる縄文時代」

会期：2014年12月13日～2015年2月8日

会場：名古屋市博物館

総来場者数：11,450名

② 講演会

「ユニバーサルミュージアムのあり方」

開催日：2014年6月11日（水）

講師：広瀬浩二郎氏（国立民族学博物館准教授）

・セミナー「ユニバーサルミュージアムのあり方」

開催時間：15：00～16：30

開催場所：人類学博物館実習室

参加者：16名

・特別講演会「身体でみる異文化の世界——音で伝える、色を創る、心に触れる——」

開催時間：17：30～19：00

開催場所：南山大学名古屋キャンパス R 棟 R49

申込不要、講聴無料 参加者：78名

③ 講座

○フィールドワーク

2014年度フィールドワーク「東海の考古遺跡を歩く 2014」

第1回 10月18日(土) 事前指導 講師：如法寺慶大(南山大学人類学博物館学芸員)

第2回 10月26日(日) 富加町郷土資料館、富加町の古墳、夕田茶臼山古墳、井高1号墳、
祢宜屋古墳群、坂祝町の古墳、坂祝町公民館、美濃加茂市民ミュージアム、尾崎遺跡の見学

現地講師：藤村俊氏(美濃加茂市民ミュージアム)

島田崇正氏(富加町教育委員会)

第3回 11月9日(日) 「可児市内の古墳を歩く」開催

※天候不順の為12月7日(日) (熊野古墳、身隠山古墳、西寺山古墳、長塚古墳、川合次郎兵衛塚
へ変更 古墳、川合考古資料館)

現地講師：長江正和氏(可児市教育委員会)

第4回 11月23日(日) 昼飯大塚古墳・法林寺古墳群・船来山古墳群見学

現地講師：恩田知美氏(本巣市教育委員会)

杉山新次郎氏(本巣市立一色小学校)

第5回 12月6日(土) 事後指導 講師：西川由佳里(南山大学人類学博物館学芸員)

申込者数：20名

○博物館講座

2014年度博物館講座『咲くやこの花 一花をめぐる人の歴史』

第1回 6月7日(土) 「～花と再生する生命～ 古代エジプト人の大なる花園」

講師：中野智章氏(中部大学国際関係学部准教授)

参加者数：21名

第2回 6月21日(土) 「～あくなき花への情熱～ 国を越え海を越えるプラントハンター」

講師：西田佐知子氏(名古屋大学博物館准教授)

参加者数：19名

第3回 7月5日(土) 「～百花良薬～ 花と本草学、そして薬効」

講師：伊藤恭子氏(内藤記念くすり博物館学芸員)

参加者数：17名

第4回 7月19日(土) 「～花の図像学～ キリスト教の野辺に咲く花々」

講師：大森正樹氏(南山大学キリスト教学科名誉教授)

参加者数：18名

④ 連携授業

人類学博物館では、2007 年度より名城大学附属高校と連携授業を実施している。この学習連携を通じて、博物館における教育プログラムの策定を試みている。

- 9月29日（月）：趣旨説明：テーマ＝モノから見る「文化」の理解
課題提供：博物館資料を探せ！～形の認識～
- 10月6日（月）：博物館見学
縄文土器・弥生土器の観察、土器作りを学ぶ
→ 台風のため中止
- 10月17日（金）：博物館見学
・土器の観察、意見交換、発表
・用途を考えてみる
・研究室訪問
- 10月20日（月）：授業
・人類学博物館の一品/逸品（ハンドアックス、民族誌資料）
……考古学で何がわかるか、人類学は何を知ろうとするのか
- 11月10日（月）：博物館見学
・土器の観察、分類
- 12月1日（月）：授業
・人類学博物館の一品/逸品（民族誌資料）
・昭和の一品/逸品……それにまつわる家族の物語
- 12月15日（月）：発表準備、成果発表
・モノにまつわる物語

⑤ 博物館実習（学外者）

○愛知学院大学

受入期間：2014年7月31日（木）～8月5日（火）

受入人数：1名

実習内容：館内一般業務

⑥ 総合学習

本年度は3校より総合学習の申し出があった。（職場体験学習×2校、社会科授業×1校）

・職場体験学習

○愛知中学校

期間：2014年7月16日（水）～17日（木）

受入人数：5名

実施内容：マリンガーコレクション復元の補助作業、展示室・収蔵庫掃除、
資料クリーニング、資料整理、ワークショップ企画 等

○川名中学校

期間：2015年1月15日（木）～16日（金）

受入人数：3名

実施内容：資料探しクイズ解答シート作成、展示室・収蔵庫掃除 等

・社会科授業

○南山高校・中学校女子部

実施日：2014年10月7日

受入人数：52名

実施内容：博物館見学、展示解説。

⑦ ギャラリートーク

日にち	時間	担当	タイトル	参加人数
5月24日	14:00	西川	ユーミエン族の女性用ズボン 西北タイ・歴史文化調査団資料より	3名
5月31日	14:00	黒沢	名古屋の赤い弥生壺——高蔵遺跡出土のパレス壺	6名
6月7日	13:00	黒沢	ホモ・エレクトゥスの石器—マリンガー・コレクションから	15名
6月14日	14:00	如法寺	ショーテン諸島のシングルアウトリガーカヌー	2名
6月21日	11:30	西川	ユーミエン族のターバン 西北タイ・歴史文化調査団資料より	1名
6月28日	14:00	如法寺	ソロモン諸島・マライタ島の貝貨	4名
7月5日	11:30	西川	モン族のスカート 西北タイ・歴史文化調査団資料より	5名
7月12日	14:00	黒沢	パプアニューギニアの石斧	9名
7月19日	13:00	如法寺	セピック河流域の精霊仮面	1名
7月26日	14:00	黒沢	稲作が始まった頃の土器	4名
8月2日	14:00	如法寺	ヤムイモ収穫儀礼用仮面	6名
9月27日	13:00 15:30	西川 如法寺	新人類学博物館の楽しみ方、お教えします	4名 9名
10月4日	11:30	黒沢	銅鐸の模倣品が語ること——西志賀遺跡の銅鐸形土製品	12名
10月11日	13:00	如法寺	バイニング族の踊り用仮面—その技術と精神—	3名
10月18日	13:00	黒沢	中国鏡の世界	2名
10月25日	11:30	如法寺	セピック河流域の仮面世界——仮面が語ること——	5名
11月1日	13:00	西川	新人類学博物館の楽しみ方、お教えします	7名
11月8日	11:30	如法寺	モノからよみとる—ショーテン諸島のシングル・アウトリガーカヌー	5名
11月15日	11:30	西川	リス族の上衣 西北タイ・歴史文化調査団資料より	5名
11月22日	13:00	黒沢	パプアニューギニアの編物文様 ——文様はどのように生み出されたのか？	
11月29日	11:30	西川	アカ族の帽子 西北タイ・歴史文化調査団資料より	2名
12月6日	13:00	黒沢	謎のバンチェン土器	6名
12月13日	11:30	如法寺	死者の記憶—ニューアイルランド島のマランガンマスク	0名

(2) 調査・研究活動

積極的にシンポジウム、研究会へ参加し、調査・研究活動を行った。

調査出張

1) 平成 26 年度愛知県博物館協会総会

日時：2014 年度 6 月 25 日

内容：平成 26 年度愛知県博物館協会総会へ出席

出張者：如法寺慶大

2) 吹田市立博物館企画展関連シンポジウム

日時：2014 年 7 月 5 日

内容：吹田市立博物館企画展関連シンポジウムへの参加

出張者：如法寺慶大

3) 第 14 回 学芸員照明研究会

日時：2014 年 7 月 14 日

内容：パナソニック汐留ミュージアム主催「第 14 回学芸員照明研究会」への参加

出張者：如法寺慶大

4) 全国歴史民俗系博物館協議会 第 3 回年次集会

日時：2014 年 7 月 17 日

内容：全国歴史民俗系博物館協議会 第 3 回年次集会への参加

出張者：西川由佳里

5) シンポジウム「挑戦するアジアの大学博物館」

日時：2014 年 10 月 28 日～29 日

内容：京都大学総合博物館主催のシンポジウム「挑戦するアジアの大学博物館」への参加

出張者：如法寺慶大

6) 平成 26 年度 全国大学博物館学講座協議会西日本部会の総会・研修会・情報交換会

日時：2014 年 11 月 15 日

内容：平成 26 年度全国大学博物館学講座協議会西日本部会の総会・研修会・情報交換会への参加

出張者：如法寺慶大

7) 有機質遺物研究会例会

日時：2015 年 3 月 14 日

内容：京都大学大学院生が中心となって開催している有機質遺物研究会例会において講演

出張者：如法寺慶大

(3) 資料の収集・整備と利用

本年度はインドネシア資料、石斧、生活資料等多岐に渡った資料の寄贈を多数受けた。

① 受贈資料

1. 倉田美恵子氏より インドネシア資料 計 184 点
2. 椎名敏一氏より 北村コレクション (頭部彫刻石刀、磨製石斧等) 計 323 点
3. 林順子氏より おままごとセット一式
ダイヤブロック 3L・D・Kセット (モデルハウスシリーズ) 一式
4. 岩野一郎氏より ブラザー電子タイプライター 2 点
5. 青木清氏より 一斗栱 1 点
6. 番澤勉氏より 番澤コレクション 計 875 点
(石器 590 点、土器 267 点、骨角器 4 点、その他 14 点)
7. 鈴木まり氏より ディズニーままごとあそび一式

② 燻蒸の実施

○R 棟

- 7 月 18 日 施工前昆虫トラップ配置
- 7 月 31 日 施工前昆虫トラップ回収
- 8 月 22 日 燻蒸実施
- 8 月 25 日 施工後トラップ配置
- 9 月 9 日 施工後トラップ回収

○G 棟

- 7 月 18 日 施工前昆虫トラップ配置
- 7 月 31 日 施工前昆虫トラップ回収
- 8 月 2 日 燻蒸実施
- 8 月 3 日 周辺漏れチェック、内部確認等
- 8 月 25 日 施工後トラップ配置
- 9 月 9 日 施工後トラップ回収

③ 購入図書

77 冊

④ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
1007	896	270

⑤ 資料貸出

貸出先	資料名・点数	貸出期間	目的
豊田市郷土資料館	前畑遺跡 A 地点出土 縄文土器 14 点 前畑遺跡 B 地点出土 縄文土器 13 点	2014 年 6 月 27 日～ 9 月 12 日	豊田市郷土資料館特別展「山に生きた縄文人—新修豊田市史の成果から」に展示するため
東急文化村	楯 (オーストラリア) 棍棒 (オーストラリア西部) ブーメラン (オーストラリア) 疑餌針 (ニュージーランド) 計 4 点	2014 年 12 月～2015 年 3 月	Bunkamura25 周年記念展「キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展」への出展のため
名古屋市博物館	二ツ木貝塚出土土器 2 点 姥山貝塚出土加曾利 E 式土器 1 点 大草南貝塚出土品 (貝輪等) 7 点 入海貝塚出土土製品 1 点 弓矢、石斧、槍 (パプアニューギニア) 6 点	2014 年 12 月 3 日～ 2015 年 2 月 18 日	名古屋市博物館・南山大学人類学博物館主催特別展「感じる縄文時代」への出展のため

⑥ 取材・調査のための来館者一覧

来館者名	資料名・点数	実施日
神奈川大学歴史民俗資料学 研究科 譚静	上智大学西北タイ歴史・文化調査団が西北タイのヤオ族村で購入した 18 神像	2014 年 7 月 8 日
名古屋大学大学院 文学研究科博士課程 前期課程 2 年 村松裕南	田原市保美貝塚出土人骨資料 1950 年中山英司市保美貝塚調査時の人骨資料。人骨 6 体分 (或いは集積の 11 体分)	2014 年 7 月 24 日・25 日
松戸市博物館	パプアニューギニア映像資料 2 本	2014 年 11 月 19 日

⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
公益財団法人 名古屋国際センター	南山大学人類学博物館ホームページ内掲載・展示室写真 展示室、縄文土器1段目の写真 【内訳（写真手前より）：姥山貝塚出土・加曾利E式土器2点、姥山貝塚出土・勝坂式土器】	『NAGOYA CALANDAR（英語版）』	2014年6月1日
公益財団法人 元興寺文化財研究所	大須二子山古墳出土 挂甲（全体・紐部分）	ポスター掲示 （シンポジウム「Organic Hand-straps for Braiding Found in Asia and Africa」	2014年5月21日
神奈川大学歴史民俗 資料学研究科 譚 静	上智大学西北タイ歴史・文化調査団が西北タイのヤオ族村で購入した18神像	博士論文	2014年8月30日
愛知県埋蔵文化財センター	青森県三戸郡南部町 鱒沢遺跡出土土偶	『貝塚70号』	2014年
開隆堂出版株式会社	千葉県二ツ木貝塚出土 深鉢型土器	『美術 表現と鑑賞 2015年度改訂版』	2015年4月1日
浜島書店	礫石器 打製石器（ハンドアックス）	『プロムナード世界史』	2015年4月1日
東急文化村	楯（オーストラリア） 棍棒（オーストラリア西部） ブーメラン（オーストラリア） 疑餌針（ニュージーランド）	Bunkamura25周年記念展 「キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展」 図録	2014年12月22日
愛知県立熱田高等学校	館内 展示室内写真	熱田高校図書館報	2014年12月15日
公益財団法人 元興寺文化財研究所	大須二子山古墳出土 小札塊実測図	『五條猫塚古墳の研究 考察編』	2015年3月31日
昭和区役所	館内 展示室内写真	『あゆちNews』（昭和区役所職員向けの広報誌）	2015年1月13日

有限会社アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢型土器	教育出版株式会社 平成 28 年度版「中学社会 歴史 未来をひらく」 (文部科学省検定教科書)	2016 年 4 月 1 日
秋田県立博物館	石斧 (パプア・ニューギニア)	秋田県立博物館企画展「石斧のある世界」パンフレット・広報用チラシ	2015 年 3 月 31 日
名古屋市教育委員会 文化財保護室	山の田古墳 発掘調査時の写真 玄室と羨道 山の田古墳出土遺物写真	名古屋市教育委員会・六一書房 『尾張の大型古墳群 国史跡志段味古墳群の実像』	2015 年 2 月
松戸市立博物館	二ツ木向台遺跡出土土器写真 森嵩史 1992「二ツ木向台遺跡の縄文早期の土器 本館所蔵資料の紹介」 『南山大学人類学博物館館報第 27 号』 所収の土器拓本 市立市川考古博物館 2011『市川出土の縄文土器』掲載の堀之内貝塚出土土器写真	『松戸市史上巻 原始・古代・中世』	2015 年 2 月 28 日
株式会社リブロ	館内写真 頭蓋彫刻 (パプアニューギニア)	『世界のスカル所蔵ミュージアムを探ねて』	2015 年 3 月 25 日
豊田市教育委員会	市塚古墳発掘調査時のモノクロ写真 市塚古墳出土 ヤリガンナ	『新修豊田市史 資料編 考古Ⅱ (弥生・古墳)』	2015 年 3 月

⑧ 当館紹介刊行物一覧

機関名	内容	刊行物名
ad-kid	紹介文・写真	千種版咲楽 11 月号
中日新聞	紹介文・写真	『中日新聞』2014 年 2 月 25 日刊行
日経新聞社	紹介文・写真	『日経新聞』2014 年 3 月 17 日刊行

(4) 出版活動

本年度も例年どおり、2点の出版物を刊行した。

1. 『南山大学人類学博物館紀要』第33号
2. 『南山大学人類学博物館年報 2013年度』

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	中 裕史 (副学長 (教学担当/外国語学部アジア学科教授))
担当教員	黒沢 浩 (人文学部人類文化学科教授)
学芸員	西川 由佳里 (特別嘱託職員) 如法寺慶大 (特別嘱託職員)
事務員	室田美香 (専任嘱託職員) 沖田朋絵 (臨時職員)

2) 博物館運営委員会

委員長	黒沢 浩 (人文学部教授)
委員	吉田竹也 (博物館学芸員養成課程委員会委員長) 加藤 隆浩 (外国語学部教授) 大塚 達朗 (人文学部教授) 濱田 琢司 (人文学部日本文化学科准教授) 大川 隆 (教育・研究支援事務室長)

3) 資料評価委員会

委員長	大塚 達朗 (人文学部教授)
委員	加藤 隆浩 (外国語学部教授)
委員	後藤 明 (人文学部教授)

(2) 開館・入館者実績

①開館日数・入館者数

開館日数	入館者数 (授業以外)	団体数	団体人数
277	9931	33	649

②入館団体内訳

・大学見学

日付	団体名	人数	担当課室
10月10日	静岡県立島田高校	80	入試課
10月23日	静岡県聖隷クリストファー高校 (私立)	45	入試課

10月24日	愛知県立日進西高校	18	入試課
10月28日	愛知県立杏和高校	47	入試課
10月30日	愛知産業大学	60	入試課
11月6日	岐阜県立各務原西高校	165	入試課
11月7日	岐阜県立飛騨高山高校	40	入試課
11月10日	静岡県立焼津中央高校	25	入試課
11月11日	愛知県立横須賀高校	50	入試課
11月12日	南山高等学校女子部	35	入試課
11月17日	南山高等学校男子部	65	入試課
12月4日	長野県立岡谷南高校	40	入試課
12月5日	三重県立川越高校	13	入試課
12月10日	岐阜県立岐阜商業高校	40	入試課
12月11日	岐阜県中京高校（私立）	87	入試課
12月17日	長野県立木曾青峰高校	37	入試課
3月12日	愛知県永徳高校（私立）	76	入試課
3月17日	愛知県立惟信高校	50	入試課

・大学見学以外の団体

日付	団体名	人数
4月22日	社会福祉法人名古屋ライトハウス	40
5月22日	名古屋市博物館ボランティアの会	20
6月11日	岡崎市立翔南中学校	6
6月17日	名古屋大学博物館	20
6月18日	中日くらし友の会	6
6月25日	名古屋大学博物館	21
6月6日	歩っ歩会	17
7月8日	東京都江戸東京博物館	4
7月28日	点訳グループ六点会	8
7月31日	名古屋工業大学建築・デザイン工学科	13
8月25日	郷土史研究クラブOB会	82
9月6日	開智塾	29
9月9日	名古屋市高年大学社会研究クラブ	50
9月13日	南山大学同窓会名古屋第一支部	30
9月20日	点訳ボランティア北コスモス会	10
10月21日	名古屋市高年大学社研OB26期会	15
10月31日	伊吹山文化資料館	20
11月4日	愛知県理容生活衛生同業組合昭和支部	25
11月15日	大学女性協会愛知支部	18
12月4日	名古屋市昭和区社会福祉協議会	29

12月5日	愛知シルバーカレッジ	6
12月6日	星城大学	35
12月11日	名古屋大学博物館資料保存論受講者	18
12月12日	名古屋市昭和区社会福祉協議会	28
12月13日	名城大学	14
1月10日	かわら美術館	11
1月10日	東浦町	8
2月16日	名古屋高年大学OB会	8
2月17日	亀岡市文化資料館	21
2月26日	三重県立盲学校中学部	10
3月20日	ライフ 21A	11
3月23日	井上良知	6
3月28日	北鯨城 22 期会	10

3. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目 的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事 業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館 長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（教学担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

第5条 博物館の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第5条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
- 2 博物館学芸員養成課程委員会委員長
- 3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集選択に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の

過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行なう博物館資料の収集に関する事項を協議し、決定することを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名

2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館資料の寄贈の申入れについて、南山大学人類学博物館運営委員会の諮問に基づき、その可否を審議、決定する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館－ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

- ② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報や適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

- ② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

NANZAN UNIVERSITY

2015年6月15日 印刷

2015年6月15日 発行

南山大学人類学博物館年報 2014年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147 内線 5223

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄 3-21-31

TEL 052 (732) 2227